

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	21	-	事業名	清掃センター運営事業	担当部課	くらし文化部 環境課
------	----	---	-----	------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(1)	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	(2)	ごみの減量化・資源化を進める		
		施策の進め方	(2)	ながくてエコハウスの活用		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品(子ども服、図書等)の回収配布				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。				
	事業を構成する事務事業	① 清掃センター運営事業	改善・見直し	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	7,841
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	5,347
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	13,188

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	ごみの排出量	kg	目標	13,964,579	14,143,575	14,417,031	14,667,599
実績				14,143,010	14,312,769	14,018,403	13,694,272	
B	資源化率	%	目標	26.00	26.90	27.80	28.70	
			実績	25.59	26.25	25.61	26.80	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定								
B 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。資源化するごみの量÷ごみの排出量								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 ・尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 ・瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ごみの排出量は成果指標の目標値を達成できているが、資源化率は学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われることから目標値を達成できていない。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民のエコ意識の高まりとともにエコハウスの駐車場が混雑する。拠点が1か所であるため、遠方の人のニーズに対応できていない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能(品目)の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		清掃センター運営事業										
番号	①	事務事業名	清掃センター運営事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民が清掃センター（エコハウス）を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター（エコハウス）の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品（子ども服、図書等）の回収配布
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				7,385
		決算				7,841

3. 活動推移

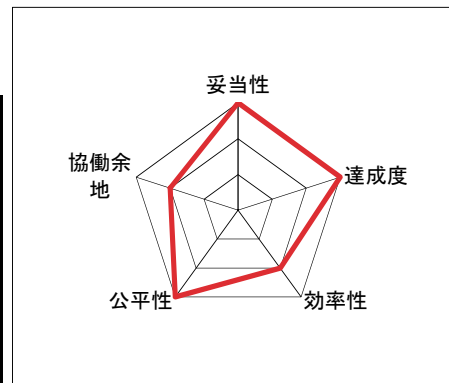
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
資源回収ステーション利用者数	人	目標	10,000	120,000	140,000	150,000	
		実績	97,743	129,057	153,687	165,306	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> 日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能（品目）の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。